

第33回 日本自殺予防 シンポジウム

いのちと向きあうネットワーク社会を!

●基調講演

みんなの「いのち」輝くために
～自殺をとりまく現代世相から語る～

講 師……………大谷 昭宏 氏
ジャーナリスト

プロフィール

1945年東京生まれ。1968年早稲田大学政経学部卒業。読売新聞大阪本社入社、徳島支局勤務。1970年大阪本社社会部勤務、警察担当。1972年大阪府警捜査一課担当。1980年朝刊社会面コラム「懸」欄を担当。以後7年間にわたって執筆。1987年読売新聞社を退社後、大阪に事務所を設けてジャーナリズム活動を展開。現在、テレビ朝日系列「サンデープロジェクト」「スーパー」チャンネル」「やじうまプラス」「スーパーモーニング」TBS系列「ピンポン」朝日放送「ムーブ」東海テレビ「スーパーサタデー」などに出演中。

主な著作(共著を含む)

「法か、良か」「監視カメラは何を見ているのか」「死体は語る。現場は語る」「極力犯罪」「日本警察の正体」「グリコ・森永事件～最重要参考人M」「事件記者」「ささやかな少数意見」「サラリーマンの忘れ物」「開け心が重ならば」「新聞記者が危ない」など

●シンポジウム

「関西発 つながろう!
いのちのネットワーク」

コーディネーター

清水 新二 氏
奈良女子大学生生活環境学部教授

シンポジスト

藤井 美和 氏
関西学院大学人間福祉学部人間科学科准教授
松井 孝文 氏
毎日放送報道部記者
安田 一之 氏
臨床心理士・大阪学院大学国際学部准教授
渡辺洋一郎 氏
精神科医

2008年

日時

7月12日(土)

13:45～18:00(開場13:00)

会場

中之島中央公会堂 大ホール

大阪市北区中之島1-1-27 TEL:06-0208-2002

主催/社会福祉法人 いのちの電話

共催/日本自殺予防学会、日本いのちの電話連盟、関西いのちの電話

後援/大阪府自殺対策連絡協議会

内閣府、厚生労働省、大阪府、大阪市、堺市、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、大阪府社会福祉協議会、大阪市社会福祉協議会、大阪弁護士会、大阪府医師会、大阪精神科病院協会、大阪精神科診療所協会、大阪府臨床心理士会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、産経新聞社、日本経済新聞社、NHK大阪放送局、毎日放送、朝日放送、関西テレビ放送、読売テレビ放送、テレビ大阪、NTT西日本(順不同)

日本いのちの電話連盟 <http://www.find-j.jp/> 日本自殺予防学会 <http://www.jspa.jp/>

お問合せ/関西いのちの電話事務局 TEL:06-6308-6868 FAX:06-6308-6180

入場
無料

どなたでもご自由に
ご参加いただけます。
直接会場までお越し下さい。

厚生労働省補助事業